林 眞暎（メゾ・ソプラノ　/　コントラルト）

Mae Hayashi, Mezzo-soprano/Contralto

横浜市出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。卒業時にアカンサス音楽賞、同声会賞受賞。同大学大学院音楽研究科独唱専攻修了。サントリーホール オペラ・アカデミーのアドバンストコース修了、ジュゼッペ・サッバティーニのもとで研鑽を積んだ。

故・児島百代、永井和子、ミラノでソニア・プリーナ、セレーナ・ファルノッキアの各氏に師事。

メゾ・ソプラノのみならず、世界でも数少ないコントラルト歌手として活躍し、バロックからロマン派まで幅広いレパートリーを得意とする。  
2016 年にドイツのバート=ヴィルトバート・ロッシーニ音楽祭において《オリー伯爵》ラゴンド役、《マルシコ伯爵》伯爵夫人役で欧州デビュー後、イタリア・ブッセートのヴェルディ歌劇場《イル・トロヴァトーレ》アズチェーナ役、ピアチェンツァ市立歌劇場で世界初演された《オペラ・ミニマ》エラト役、マスカーニ・フェスティバルでの《カヴァレリア・ルスティカーナ》ルチア役などを演じた。国内では、2021年サントリーホール・オペラでルイゾッティ指揮の《椿姫》フローラ役、柴田眞郁指揮のひろしまオペラルネッサンス《フィガロの結婚》マルチェリーナ役、リトアニアのカウナス城オペラフェスティバルで吉田裕史指揮《蝶々夫人》スズキ役など国内外のオペラに数多く出演するほか、コンサートでも井上道義指揮による読売日本交響楽団とのマーラーの「交響曲第2番〈復活〉」、新日本フィルとのマーラーの「交響曲第3番」、佐渡裕指揮/新日本フィルとのベートーヴェン「第9」のソリストを務める。令和元年度文化庁新進芸術家海外研修員。バッハ・コレギウム・ジャパン声楽メンバー。